

## がん対策推進協議会の今後の議題に関する前回協議会での意見

- 中間評価に向けた指標策定は協議会委員の責任だと思う。すぐに始めるべき。(中川委員)
- 個別課題については、優先度を決めて議論するべき。(天野委員、西山委員、堀田委員)
- 各論も重要だが、財源も限られている中、これからのがん医療がどうあるべきか議論するべき。新薬や先進技術を利用することのリスクや、医療費の問題、個人負担の問題もどう考えるべきか議論が必要。また、中間評価に向けた指標策定は必須である。(本田委員)
- 計画が策定された今こそ、視野を広く持った全体の議論は今しかできないだろう。中間評価に向けた作業は今から議論するべき。(野田委員)
- 中間評価に当たっての指標はすぐに議論を開始し、時間も限られていることから早期に指標案を策定するべき。(天野委員)